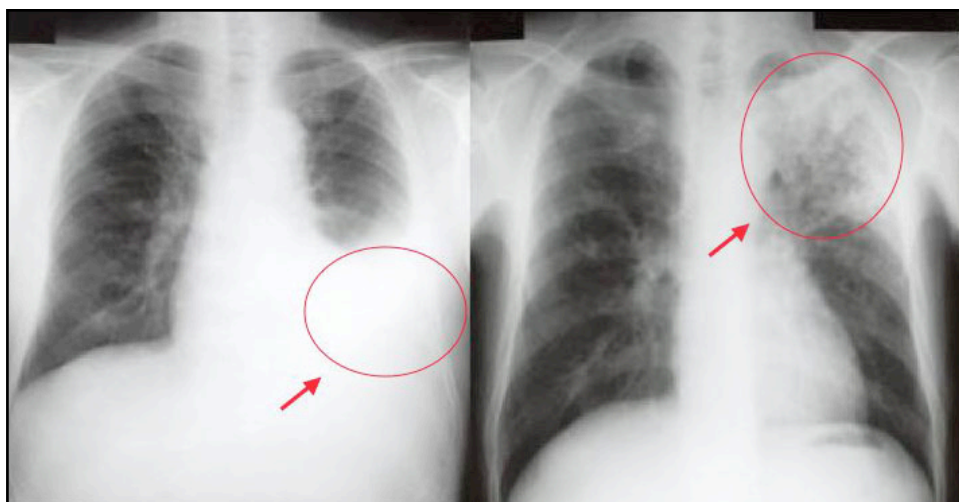


だんご坂通信 (No.3)



健康診断にて発見された肺の病気

「自信過剰になっていませんか？」

人は、誰でも、年をとり、これに伴い体のさまざまな部位に故障が出てきます。

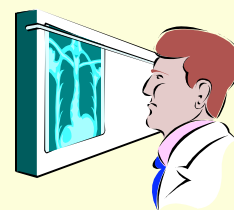
今年も文京区の成人病健診の季節になりました。区在住の41歳以上64歳まで（45歳、50歳、55歳、60歳の方節目健診のため対象外となります）の方が対象です。昨年私どものクリニックで、この無料健診を受けられた方の、実に5人に3人は、何らかの異常がありました。この数字は、いわゆる成人病の平均有病率より、はるかに高いものになっています。日頃より体の調子が気になる方がこの機会を利用して受けているためかと考えられますが、誰でも40歳を過ぎる頃になると何らかの体の変調をきたす可能性があることを示しているものと考えられます。

この中の多くの方々は、軽症の高血圧、高脂血症、糖尿病などのいわゆる生活習慣病で、食生活や生活環境を改めることにより改善する可能性が高いものでした。しかしこうした成人病健診で、ほとんど自覚症状のない方の中から、上の写真のように早急な治療が必要な病気が発見されること希ではありません。自覚症状のない健康に自信のある方も含め、最近太りだした方、運動不足の方、お酒の摂取量の多い方、タバコの喫煙の本数の多い方や、ご両親、ご兄弟に、高血圧、高脂血症、糖尿病等の成人病や癌の患者様が多い方は、この際に区の無料健診を受けられることをお勧めします。期間は 5月10日から6月30日まで近隣の医療機関で受診できます。詳細は区の保健予防課保健係電話 03 (5803) 1229または当クリニック03 (3823) 6614 までお問い合わせください。

一口メモ

左の2枚のレントゲン写真は、どちらも自覚症状が無いか軽度で、いわゆる健診発見の肺癌による胸膜炎（左）と肺結核（右）です。

近年、肺癌は癌の死因の第1位にランクされていますし、また一時は撲滅されたと考えられていた結核も、お年寄りのみならず若い人々の間での集団感染もしばしば報告されています。



こうした

病気もその初期には無症状か、風邪のような症状のみということが普通です。「咳が3週間以上続いていたら要注意」といわれる所以です。

- S. K.